

11月報(2023年) 萌 カトリック福山教会



福山教会活動テーマ：

「喜びをもっていのちをもたらす福音を社会に伝えよう」

〒720-0808 福山市昭和町 7-26

☎【084】923-0614 FAX【084】923-0615

e-mail : fuku-ch@ktd.biglobe.ne.jp

【イエス様マリア様への手紙】



*教区創立 100 周年記念行事の子ども企画で
蔵櫻(くら さくら)ちゃんが入選しました♥
8/12(土)広島祇園教会にて表彰式があり,その時のお写真です。
おてがみが届きましたので掲載したいと思います。

イエスさまへ いつもみまもってくださってありがとうございます。
わたしのしょうらいのゆめは学校の校長先生になることです。ずっとみまもっていてください。
マリアさまへ せんそうがある国はせんそうを止めてあげてください。びょういんがない国は
びょういんをあげてください。おねがいします。 くらさくら

いつも私たちを見守ってくれてありがとうございます。
私が中学生になっても引きつづき見守ってください。
私はしょうらいが不安なので見守ってください。
もっと人にやさしく出来るようにしてください。
私はしょうらい大学生になったらいろいろ大変だと思うので見守ってください。
これからは中学校になるけど大変なこといっぱいあると思うので見守ってください。
中学校でも友達と仲良くできるようにがんばりたいと思います。 ジュリアン

べんきょうができるようになりますように。
おおきくなったらケーキやさんになれますように。 村上こう

ぼくは大人になったら家庭さいえんにいとなみたいと思います。
なのでぼくを大人まで見守って下さい。
そして幸せな一生をとげるようにいつも私を見守って下さい。

ニヨ

ぼくは、きれいな食べ物と好きな食べ物があります。きれいな食べ物はなす、魚、ピーマン、パプリカなどがきれいです。好きな食べ物は、きゅうり、トマト、ポテトサラダ、いちご、メロン、すいかなどがあります。

ぼくはきれいな食べ物を好きになるようにしていきたいです。なぜなら、きれいな食べ物があるときれいな物が食べれなくなるからです。

武田来雅

かみさま、もっとおべんきょうができるようにおしえてください。あとはピーマンがきれいだったから、ピーマンを食べれるようにしてください。またしんぷさまとあえたらあいたいです。

久保田真愛

おかあさん、おじいさん、おばあさんがみんなげんきになりますように。
ゆうとがべんきょうがじょうすになりますように。

ふじい ゆいと

守るべき人、守りたい人、大切な人といっしょに明日の心配がなく楽しい食事をする事ができますようにおたすけください。

ふじいたかつぐ

【2023年 侍者合宿を終えて】

藤井 崇嗣

長い長いコロナによる行事の自粛の期間が明けて、久しぶりに侍者合宿が行われました。合宿一週間前まで参加者がなく、リーダーだけで今後の打合せをする合宿になるところでしたが、2家族に参加していただき、少人数でしたが有意義な侍者合宿になりました。

夕食を一緒にしている時、三原教会から参加していただいた信者さんに言われた事が印象的で心に残っています。「教会(小教区)を超えてもっと楽しい行事にいきましょう」

人とのつながりが薄くなっている今、つながりを取り戻す方法は、会って同じ食事をし、話し合う事だと改めて気付かされました。

今後も楽しい事を考えていますので、皆様ぜひ参加してください。



【鶴島巡礼】

富田恵子



久し振りに鶴島に行こうと思いたち、締め切り最終日に皆様にお誘いしたところ、2名の方が「(初めて)行きたい」と申し出られて、良いきっかけになって嬉しかったです。

私が初めて福山教会から皆さんと巡礼に行った時(6年生くらい)改心者開墾地と不改心者開墾地との地図を見せてもらいました。

「役人から信仰を捨てろと言われるより、同じ長崎からきた改心した信者から言われたことがあった」という言葉が忘れられませんでした。

まだ浦上四番崩れについて何も知識のなかった私ですが、その言葉だけは覚えていました。

大人になり、現在福山流配の事を調べるようになり、岡山流配の事も資料を見ると、岩永マキさんをはじめ5名の方がシスターになられたことを知り、信仰の恵みに目をみはるばかりです。

岡山流配で亡くなられた方 17 名中、鶴島で 13 名の方が亡くなりました。お墓(岩)の花入れにお水を注ぎながら祈り、瀬戸の美しい風景の中、私たちに力強いエールをいただいて帰ってきました。



デ・ルカ・レンゾ神父ミサ司式と説教

説教は記載の マタイ 5-38～42

【復讐してはならない】に代え、

ルカ 10-25～37【良いサマリア 人】を読まれ、お話しされた

私達も流配者に近づき避けることなく彼ら(弱者)を自分と関係ある者として考え祈ることが大切。このミサを通して彼らと親しくなったつもりで信仰を伝えていきましょう

【ブラザー阿部のみ言葉の分かち合い】～マタイ福音書7章～

『すべて、良い木は良い実を結び、悪い木は、悪い実を結ぶ。

良い木が悪い実を結ぶ事はなく、悪い木が、良い実を結ぶ事も出来ない。』

今日は、このみ言葉に心が留まりましたが、この箇所にごく疑問を感じました。

神は、この世のすべてのものを良いものとして造られました。なのに、どうして悪い木があるのでしょうか…悪い実を結ぶ木を造られたのでしょうか。

これは、わたしの個人的な解釈ですが、最初から悪い木ではなく、神さまの恵みに満ちた良い木だったのでしょ。ここでは、悪い木を見分け、警戒しなさいとありますが、私も他の人から見れば、悪い木になってはいないでしょうか。反省しなければなりませんね。

人は生まれた環境によって、仕方なく悪い木になってしまうこともあるでしょう。わたしたちは、キリストからたくさんの恵みを受け良い土地に蒔かれた種かもしれません。

しかし、誰でも罪深い者です。本当に良い木はありません。相手を思いやり受けた素晴らしい恵みを、回りの人に分け与える人になりましょう。恵みは、神さまからの素晴らしいプレゼントですから…。

世界の指導たちが、この一人一人に与えられたプレゼントを思い出し、何よりも大切に思うことで、人の生命を大切にされる、世界の平和が実現しますように。アーメン。

【葬儀について】

葬儀先唱者チーム代表：富山信行

① 葬儀の課題

*教会の高齢化が進み、ミサに与れない方・施設等で亡くられる方も増えました。それに拍車をかけるようにコロナ過で人が集う事が制限され家族葬が増えました。教会共同体として故人を送葬る慣習が希薄になってきています。地区会でお手伝いを支える事も困難になってきました。男手が少なく棺を2階にあげたり下げたりする事も困難になって来ています。これから、葬儀はますます増えて行くと思います。課題を持ちながら臨機応変に頑張っています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

②葬儀先唱者チームとしてお手伝いします。

*これまで、藤田瞳さん・島村莞爾さんと引き継がれてきた葬儀の先唱者。教会を支えた多くの先輩をお送葬りしてきました。この度、島村さんが高齢と世代交代を理由に退かれました。これからは、鶴田潔さん・今岡智明さん・富山が葬儀先唱者チームとしてお手伝いさせていただきますことになりました。

各自仕事をもちながらのお手伝いですので、チームに加わってお手伝いいただく方があれば有難いです。事務までお申し出ください。

③葬儀に関する献金が見直され、変更されました。

*葬儀の費用&御礼

○通夜葬儀費用の説明

①司式する司祭への謝礼

通夜・・・ 万円 葬儀・・・ 万円。

②教会への献金 万円（葬儀のみの場合 万円）

③お手伝い・・・ 万円

（内訳：先唱者 万円、オルガニスト 万円） *源泉徴収が必要

お手伝いの方はボランティアでお願いします（但し駐車料金は実費でお支払いします）

④外部で葬儀の場合（典礼会館・ご自宅）

教会へ献金として 万円（司祭への謝礼は別途）

費用は、一つにまとめて教会事務に出してもらおう（合計 万円）

*通夜葬儀の献金は、一般特別献金となる

*その他の献金・・・教会への香典返しとしてのお気持ちがある場合は、広島教区一粒会に寄付をお願いします（出来れば 万円希望）



バラの香りが馥郁と漂う、ロザリオの月になりました。
美しい季節になりましたが、人間の現実はゆっくりゆっくりでしか
進まないものです。確かな歩みはゆっくり進むしかないのですね。
この場にいると、それを強く感じます。

6 月に元南相馬市長で、現在は南相馬市議会議員をしておられる
桜井氏のお話を伺う機会がありました。桜井氏は、2010 年 1 月に南
相馬市の市長に就任、まる 1 年経った時に、東日本大震災に見舞わ
れ、南相馬市の市長として大変な修羅場をくぐってこられた方です。

以下は、私のメモから

「南相馬市は、2006 年に三つの町：北から鹿島町、原町、小高町：が合併し、その人口は約 73,000
人でした。(原町区 約 48,000 人、小高区 約 13,500 人、鹿島区 約 11,500 人)。震災が起きたのは、
合併から5年目でした。新市長になって 1 年しか経過していない時で、まだ市として十分に構築されて
いない時でした。

2011.3.11

東京電力福島第一原子力発電所を襲った津波は、20.8メートルの高さ
津波による死者636人(内106名行方不明)

災害対策本部立ち上げ：救助活動(原町高校体育館に遺体収容所設置)

3/12 原発が爆発したらしい。と救助活動のさなかに不確かな、「らしい」情報が入る。

国からも東電からも何の情報なし。「らしい」だけで動けないが、一旦、市民に屋内退避を呼びかけ
たが、その後も何の情報もないので、まもなく解除。(1号機水素爆発)

午後5時ごろ、テレビのニュースで爆発の映像を見る。テロップで20km圏内は避難するようにと。

国からも、東電からも何の情報もないまま、NHK のテロップの情報で避難を呼びかける。

3/14 3号機爆発 3号機爆発。原爆と同プルトニウム原発なので大変心配した。

3/15 2号機爆発 テレビで30km圏内は屋内退避の呼びかけ。(4号機火災)

放射能災害のため、物流が途絶える。

「ニュースナイン、おはよう日本」の取材を受け、物資が入らなくなって生活が苦しくなる(食料が尽き、
寒さの中、灯油もない、ガソリンがない)、棄民のようだと訴え、やっと各地から支援物資が入ってき
た。

国の役人が来たのは 3 月 17 日、東電が来たのは 3 月 22 日。

3/17 新潟県知事から、南相馬市民の避難民を受けられるとの連絡がある。

群馬県もバス20台で迎えに来てくれた。その時、灯油がバスで運ばれた。バスで灯油を運ぶのは

違反行為ではないのか？しかし、命を優先する行為に感謝した。

3/20 調達できるだけのバスを各地に要請して、避難させる。

新潟： 11, 000人 山形： 13, 000人 … 63, 000人の避難(自主避難も含め)

後から考えると、避難が本当に良い選択だったかどうかは疑問。関連死は3か月で250人にのぼっ

(理由:環境が変わったことによる死亡。病人を動かしたため、薬が届かなくなったためなど。)

希望を失い、あきらめることは、生きる力を失う。生業を失う、農業を、畑を失う、生きる力を失う。

生業があると、希望がある。

命を守るとは、体の命だけではない、心も守ること。

いのち＝つながりでもある。避難でバラバラに、つながりを絶たれたら生きる力も断たれ、自殺に
追いやられるケースもある。

復興って何ですか？

人は一人で生きられない、誰かに支えられなければ生きていけない。人と人とのつながりを取り戻
すこと、復興を考える時に、このことを忘れてはいけない。

3/20 市役所は避難せず残ることを決断した。「私自身の判断です。」と。「公務員は今こそ使命を果

たすべき」と、職員に訓示した。東北電力も避難しないと伝えてくれたので、幸い電気は切れなか
った。彼らは50日間、コンクリートの床に、ブルーシートを敷き、毛布一枚で過ごした。

20 km圏内の小高は、人っこ一人いない町になった。

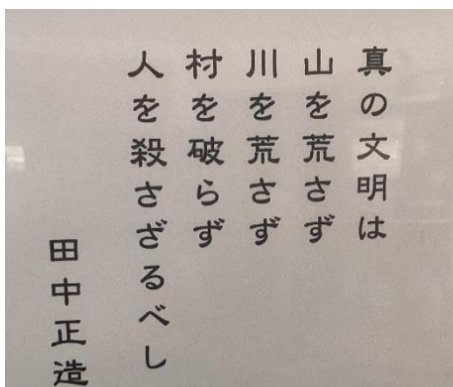
いのちを守るため、南相馬市には女性が少なくなった。

放射線被災したある女子高校生が、「自分はもう子供が産めない体になった」と悩んでいたことに心
を痛める。

このような被害をもたらした原発事故の教訓を、政府はまったくわかっていない。再稼働どころか
稼働年限を40年から60年に引き延ばそうとしている。地球を守るとは何か、考えてもらいたい。」

50日間の激務にもかかわらず、公務員としての気概と使命感の塊のようなその姿勢に本当

に感動しました。少しも自分は偉いことをしてきたという感じ
を抱かせない、その生き方に深く心を打たれました。そして今
は一市会議員として人ともっともっと市民の気持ちに沿った、
市政がなされることを強く望んで、今を生きておられます。
カリタス南相馬のベースの集会室兼食堂の壁に 田中正造の
言葉の額がかかっています。



田中正造は、天保2年(1841年)に、現在の栃木県佐野市小
中町に誕生。足尾銅山から流出する鉱毒事件を追及し、大正2

年(1913年)亡くなるまで鉱毒問題の解決のため一生をささげた明治時代の政治家です。鉱毒
を溜めておく貯水池を作るために、一つの村が水没することになり、彼はその村の人々と一緒に

生きるために、最後まで、強制破壊当日までその村を動かなかったとのこと。

田中正造の「人々と共にある」という教訓を胸に、私たちもこの原発の被災地の方々と最期まで共に居たいと思います。

【帰天のお知らせ】

ミカエル 日数谷弘様 (83 歳)

ディエゴ・喜斎 土井法人様 (85 歳)

マリア 千本美代子様 (94 歳)

謹んでお知らせします。どうぞ心を合わせてお祈りください

【11月・12月の行事予定】

11月		12月	
1(水)	諸聖人	3(日)	待降節黙想会 講師：塩谷神父
2(木)	死者の日ミサ 10:00 18:30	8(水)	無原罪の聖マリア
4(土)	備後協働体研修会	24(日)	クリスマス前夜祭
5(日)	講師：小西神父様		
12(日)	七五三	25(月)	主の降誕
21(火)	聖マリアの奉獻	27(水)	聖ヨハネ使徒福音記者
23(木)	教区ひろばの日	28(木)	幼子殉教者
26(日)	教会大掃除	30(土)	チェロコンサート
30(木)	聖アンデレ使徒	31(日)	聖家族 聖時間

【編集後記】

11月2日は死者の日でミサがありました。また11月は死者の月です。死者のことを想い、偲ぶ月と言ってもいいでしょう。この福山教会も、多くの故人となられた先輩方の働きや努力があって、現在の福山教会が成り立っているということを思い起こさなければなりません。また逆に、先輩方は現在の福山教会をどのような思いで見られるのかな、とも思います。とにかく、今月が死者を静かに偲ぶ月となったらいいですね。

(O.M)